

## 第8回自然科学研究機構技術研究会

平成25年6月6日から7日にかけて、第8回自然科学研究機構技術研究会が核融合科学研究所で開催されました。自然科学研究機構は5つの大学共同利用機関(国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所)から構成されており、その研究分野は多岐に渡っています。この研究会は、機構内の技術系職員が、多様な科学技術の交流と連携を通じ、技術系職員のネットワークを構築することを目的としています。毎年5つの機関の持ち回りで開催されており、今回は当研究所の主催で、約80名の技術系職員が参加しました。

小森彰夫所長、飯間理史技術部長による開会挨拶の後、竹入康彦大型ヘリカル装置計画実験統括主幹が「核融合研究の最前線—ヘリカルが切り拓く未来のエネルギー」と題した特別講演を、その後二日間にわたって研究機関毎の技術セッションが行われました。技術セッションでは、それぞれ1時間半の持ち時間で、座長役として代表者1名が自身の研究機関の概要を説明し、続いて4～5名の職員が各自の業務内容について発表しました。発表後には熱心に積極的な質疑応答が行われ、普段の業務とは違った分野への興味と理解を深めることができました。核融合科学研究所からは、代表者として加熱技術課の小林策治課長が研究所の概要と技術部の活動状況について紹介した後、技術部の各課から1名ずつ計5名が発表しました。発表タイトルと発表者は次のとおりです。「曲面ミラーの製作」(製作技術課:岡田光司)、「プラズマ電子加熱技術の紹介」(加熱技術課:伊藤 哲)、「LHD計測データストレージシステムの構築」(計測技術課:小嶋 護)、「冷却水棟改修工事と運転監視モニタツール作成」(装置技術課:土伏梯之)、「核融合科学研究所の有機溶剤等の管理」(制御技術課:横田光弘)。

また、7日午後には核融合科学研究所の施設見学も実施され、中央制御室や本体室、液化機室を他の機関の方々に見学していただきました。



参加者による記念撮影

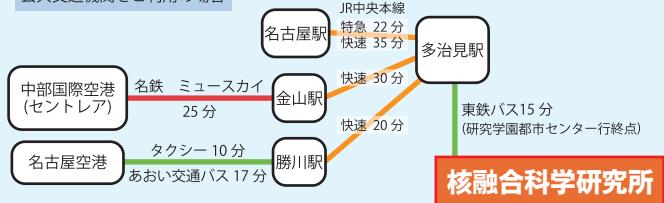


発表を行う小嶋係長

## アクセス ACCESS



### 公共交通機関をご利用の場合



### 高速道路をご利用の場合

- ・中央自動車道 多治見または土岐 IC から 20分
- ・東海環状自動車道 土岐南多治見 IC から 5分



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS No.212 (2013年6, 7月号)

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6  
TEL: 0572-58-2222 (代表) FAX: 0572-58-2601  
URL: <http://www.nifs.ac.jp/>  
E-mail: [nifs-news@nifs.ac.jp](mailto:nifs-news@nifs.ac.jp)

\* 過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

### 《複写される方へ》

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F

TEL: 03-3475-5618 FAX: 03-3475-5619 E-mail: [info@jaacc.jp](mailto:info@jaacc.jp) 著作権の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究所へご連絡ください。